

# プログラム様式



プログラム名	ともだちほしいな、おのっきー！	
対象年齢	年中（4～5歳）	
メッセージ	木の違いや特徴に気付き、木にもいのちがあることを知る	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>発見・体感できること</li> <li>葉っぱや木の実にも様々な種類があることを知る。</li> <li>木の違いに気づく。</li> <li>様々な角度から木を見て、イメージをふくらます。</li> </ul>	
参加者のめやす	幼児 35人	支援者 5人
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0分		<p>グループ①がプログラムを行っている間に木に顔をつける。 →あらかじめ用意しておく。</p> <p>・木の紹介をし、各グループで1つ好きな木を選ぶように伝える。</p> <p>木の声が聞こえる！→木に顔がついてる！→木がしゃべる（通訳や録音音声など）→「ぼくのお友達にも顔を作ってあげて！」（通訳や手紙）</p>
5分	<p>・グループごとに木を探す</p> <p>・木を決めたら顔を作りはじめる</p> <p>・顔が出来たら名前もつける</p>	<p>・見つけたグループにビニール袋をテープをわたす。</p>

木がしゃべった！？



時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
25分		<p>・グループごとに木の顔と名前を発表する。</p> <p>どんな顔にしようかな？</p> <p>パワーがなくなってきたから、鼻水がたれてるんだ</p>
		<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自然の音や雨の音などをより意識して聞いてみる。</li> <li>◆葉を並べ汽車に見立てるなどの、見立て遊びをする。</li> <li>◆葉を持ち帰り、色や匂いなどで分ける。</li> <li>◆家の物で顔を作る。</li> <li>◆園でも、家でも何かに見立てて遊ぶ。</li> </ul>
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おのっきーからの手紙</li> <li>・おのっきーの顔</li> <li>・白のビニール袋×7</li> <li>・つるすもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい袋（自然物を入れる）</li> <li>・ケータイ</li> <li>・セロハンテープ</li> <li>・ヒントBOX（中には自然物）</li> </ul>

